

**研究名：当院で S 状結腸過長症に対し S 状結腸切除術を施行した症例の後方視的検討****1. 研究の目的**

腸重積症における病的先進部の存在は手術の危険因子であり、高圧浣腸で整復ができない、あるいは整復せずに手術した方が良いことが多くあります。本研究では、病的先進部を有する腸重積症の特徴をまとめ、診療における注意点を整理し、不必要な高圧浣腸を避けることを目的としています。

**2. 研究の方法**

- ① 研究対象：2015年1月から2025年1月までの間に当科で腸重積症と診断し、手術を受けられた患者様
- ② 研究方法：対象症例に対して、電子カルテを用いて診療情報（手術時の年齢、性別、症状、全高圧浣腸施行回数、delayed repeated enema (DRE)の有無、発症から手術までの時間、病型、先進部病変など）を後方視的に検索します

**3. 研究に用いる試料・情報の種類**

患者様の情報（年齢、性別など）、臨床情報（血液検査所見、画像検査所見、高圧浣腸試行時の所見など）、手術情報（手術記録など）、病理所見など

**4. 試料・情報の公表**

学会や論文での発表に使用

**5. 研究実施機関**

群馬県立小児医療センター

**6. お問い合わせ先**

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

また、この研究のためにご自分（あるいはご家族）の診療情報を使用して欲しくない場合は主治医にお伝えいただくか、下記の問い合わせ先に2025年9月30日までにご連絡ください。研究に参加いただけない場合でも、将来にわたって不利益が生じることはありません。

ご連絡をいただかなかった場合、ご了承いただいたものとさせていただきます。

○照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

群馬県立小児医療センター 外科 小嶋重光（担当者氏名）

電話：0279-52-3551

○研究責任者：

群馬県立小児医療センター 外科 西明（責任者氏名）